

海岸の岩場や砂地に生え、高さ 10-40 cmの多年生の草木で全体が無毛です。葉は互生しやや肉厚、さかさ被針形で莨さ 2-5 cmです。花は白色か淡い紅色で、茎の先に総状花序につきます。花穂を僧が持つ払子(仏具のでとつ)に見たてたといわれています。

八零號學又

学^{*}名 Lysimachia mauritiana 科^{*}名 サクラソウ

別。 名 ぐ み

そうほんるい

分 布

北海道南部~萍縄、守国、苔湾、

葉の形さかさ被針形

葉の縁発

葉の先鋭形、鈍形

葉の種類単葉

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形

この種類 蒴果

訪

明